



2023  
January

2023年1月



Risk Analysis Research Center

## CONTENS

- 02 | 1. 今月のトピックス
- 02 | 2. 各プロジェクトからのお知らせ
- 金融・保険リスクの計量化と戦略的制御プロジェクト
  - データ中心リスク科学基盤整備プロジェクト
  - リスク基盤数理プロジェクト
  - 環境情報に関する統計解析手法開発プロジェクト
  - 地震予測解析プロジェクト
  - 資源管理リスク分析プロジェクト
  - 時空間データ解析プロジェクト
- 03 | 3. センター事務局からのお知らせ

## 1. 今月のトピックス

明けましておめでとうございます。

リスク解析戦略研究センターでは1月～3月の年度末に向けまして大きなシンポジウム等の開催が続きます。各プロジェクトからの情報を是非ご覧下さい。

## 2. 各プロジェクトからのお知らせ

### ■ 金融・保険リスクの計量化と戦略的制御プロジェクト

- 12月12-13日 第9回リスク解析戦略研究センター金融シンポジウム ～金融が直面する新環境への対応と方法論Ⅳ～ を開催しました。両日も午後からのオンライン開催でした。初日12/12は、全体で220名の参加、二日目の12/13は182名の参加がありました。



金融シンポジウム・鳩首懇談会（公開座談会）の様子

[https://www.ism.ac.jp/risk/finance\\_sympo2022.html](https://www.ism.ac.jp/risk/finance_sympo2022.html)

(所内責任者：山下 智志 教授)

### ■ データ中心リスク科学基盤整備プロジェクト

- 11月25日 公的統計マイクロデータ研究コンソーシアムシンポジウム2022を開催しました。(Zoomウェビナーによるオンライン) 全体で129名の参加がありました。

[http://jmodc.org/event/sche\\_repo\\_2022sympo.php](http://jmodc.org/event/sche_repo_2022sympo.php)

(所内責任者：南 和宏 教授)

- 12月8日 公的統計マイクロデータ研究コンソーシアムの第11回評議会を開催しました。評議員の改選、次年度事業計画、個人会員の入会審議等について議論が行われました。

(所内責任者：南 和宏 教授)

- 1月24日と3月14日に公的統計マイクロデータ研究コンソーシアムによる「公的統計マイクロデータのためのチュートリアル・講習会」を開催します。詳細は下記リンクを参照ください。

[http://jmodc.org/event/sche\\_repo\\_workshop2022.php](http://jmodc.org/event/sche_repo_workshop2022.php)

この講習は、オンサイト利用に相当するデータ分析環境を準備し、公的マイクロデータに固有の状況を踏まえたデータ分析の実践的ノウハウを提供することを目的としており、1月14日は総務省統計局関係者の方を講師に迎え、公的統計の概要、二次的利用制度、データ利用事例に関する講義を実施します。

[https://us06web.zoom.us/meeting/register/tZEvcurT8jHde7Xu2ph9DQn\\_JcIpSHsFxf](https://us06web.zoom.us/meeting/register/tZEvcurT8jHde7Xu2ph9DQn_JcIpSHsFxf)

3月14日は立正大の高部勲先生を講師に迎え、公的統計の調査票から作成した、疑似マイクロデータ(合成データ)を用いて、Rによるデータ分析演習を実施します。

(所内責任者：南 和宏 教授)

### ■ リスク基盤数理プロジェクト

- 12月8-10日 共同研究集会「無限分解可能過程に関連する諸問題」を開催しました。

<https://sites.google.com/view/takaakishimura#h.4ssy88uy2klm>

(所内責任者：志村 隆彰 准教授)

- 12月12日 外来研究員として来日された台湾アカデミアシニカのHWANG,Hsien-Kuei 特聘研究員のセミナー講演を開催しました。Title: Bell numbers in Matsunaga's and Arima's Genjiko combinatorics: Modern perspectives and local limit theorems

<https://www.ism.ac.jp/events/2022/meeting1212.html>

## ■ 環境情報に対する統計解析手法開発プロジェクト

- 3月に例年通り、ISM シンポジウムの開催を予定しています。今回は対面形式で開催する方向で検討に入りました。昨年ご協力いただいた、村上大輔助教に今回もご協力頂く予定です。

(所内責任者：金藤 浩司 教授)

## ■ 資源管理リスク分析プロジェクト

- 12月21-22日カンボジアでの国際WS「R program level 4 and 5 workshop」を現地ではオンライン実施で日本側はオンラインで開催しました。

(所内責任者：吉本 敦 教授)

## ■ 地震予測解析プロジェクト

- 11月20日-12月4日 庄建倉准教授がオーストラリア UNSW に訪問し、「Hawkes 点過程とその応用」についての研究打合せをし、セミナーを行ないました。

- 11月25日 第237回地震予知連絡会(ハイブリッド会議)にて尾形良彦名誉教授が重点検討課題「内陸地震の長期予測」の検討について「背景地震活動度を用いた内陸地震の長期予測と検証評価」の講演をしました。

<https://cais.gsi.go.jp/YOCHIREN/activity/237/237.html>

- 12月26日 第87回統計地震学セミナーが開催されました。講演者は佐藤大祐(京都大学防災研究所・JSPS 特別研究員) 演題:「適切な会報の発明 正則化事前確率を使用する場合の階層ベイズ反転」で、13名の参加者がありそのうち外国人は5名でした。

[https://www.ism.ac.jp/~ogata/Ssg/ssg\\_statsei\\_seminars.html](https://www.ism.ac.jp/~ogata/Ssg/ssg_statsei_seminars.html)

(担当：熊澤 貴雄 特任准教授、熊子瑤 特任助教)

- イタリア国立海洋学・応用地球物理学研究所と自然災害の予測・軽減に関する協力研究 MOU

を締結する予定です。

(所内責任者：庄 建倉 准教授)

## ■ 時空間データ解析プロジェクト

- 3月17日 COVID-19 に関するシンポジウムをオンラインで開催予定で、その為の準備を進めています。国際感染症センターの大曲貴夫教授、東北大学の中谷友樹教授他を招聘予定です。

(所内責任者：村上 大輔 助教)

- カリフォルニア大学との共同ワークショップの開催を計画しています。現在、来年度の開催に向け時期の検討に入っています。

(所内責任者：松井 知子 教授)

## 3. センター事務局からのお知らせ

- 12月のリスクセンター運営会議の議題

- ・リスクセンター PD の公募結果と一次評価
- ・今年度予算の返納について
- ・来年度共同利用重点テーマについて
- ・各プロジェクトからの報告
- ・その他

- ・ 次回の会議は 2023 年 1 月 11 日(水) 11:00 ~ の予定です。

2022/12/28